

チームで楽しく、熱く踊る、渋谷区のよさこい連。

渋谷のラジオで出張インタビュー 「江戸前のよさこい」をテーマに、地域団体として地元のお祭りやイベントに参加している



よさこいで味わえる
一体感と連帯感に
幸せを感じますね。

おまつ みえ
原宿よさこい連 代表 尾松不美江さん

—— 原宿よさこい連はどのような団体なのでしょう？

尾松：2001年に、原宿・表参道・代々木地区をよさこいで練り歩く「原宿表参道元氣祭スーパーよさこい」というお祭りが始まりました。私は当時、町会のボランティアとして参加していましたが、その時、見ているよりも踊る方が楽しそうだと、皆さんによさこいの楽しさを伝えたいと強く感じました。そこで、地元のチームとして参加するため、2002年に原宿よさこい連(通称：原よさ)を結成しました。現在は原宿表参道元氣祭スーパーよさこいのほか、区内のさまざまなお祭りや、「渋谷・表参道ウイメンズラン」など、年間8回ほどのイベントに参加して、踊っています。現在メンバーは約50名で、よさこいのチームとしては少ない人数なのですが、4歳から72歳まで、学生や会社員など幅広い年齢や職業の方がいて、大きな家族のようです。私たちは踊りだけでなく、年の離れたメンバーとのコミュニケーションも、とても大切にしています。

—— 皆さんが原宿よさこい連に参加した経緯を教えてください。

林：身内が亡くなってとても寂しい思いをしていた時に、原宿表参道元氣祭スーパーよさこいを見て、とても楽しそうだなと思ったんです。そうしたら、偶然娘の友達が原よさに入っていて、誰でも入れるということを聞いて、一人でドキドキしながら練習場に行ったことを覚えています。それから13年間、今も変わらずみんなと楽しくよさこいを踊っています。

山内：私も原宿表参道元氣祭スーパーよさこいを見たのがきっかけでした。見ているだけですごく元気をもらえるお祭りですが、参加したらもっと面白いだろうなと感じました。その後、原よさに参加していた方とお仕事を通じて知り合い、2010年に縁がって参加することになりました。

眞弓：私は今小学校6年生で、2年生の時に参加しました。もともと母が参加していたので、一緒にやりたいと思って、入りました。

町田：よさこいは19歳から35歳の今までずっと続けています。当初は別の連で活動していましたが、その連が解散してしまうことになり、新たに地元で連を探していた時に、会社の同僚が原よさに入っていたので私も参加しました。今は妻と2人の子どもの、家族4人で参加しています。

—— 原よさの良さや特徴はどんなところでしょうか？

林：踊りが苦手な人でも受け入れてくれるところです。毎年新しい曲で踊るので、なかなか覚えられず大変ですが、脳のトレーニングにもなっている気がしますね(笑)。

尾松：よさこいは高知県で生まれた踊りですが、全て同じではなく、チームごとに特色があります。原よさは東京都で活動しているチームですから、江戸の風を吹かせたいということで、「江戸前のよさこい」をテーマにしています。

眞弓：連のみんなの仲が良く、誰でも気軽に話せる雰囲気が好きです。毎回、衣装もとてもかっこよくて、今年は美空ひばりさんの「柔」を袴姿で踊るので、楽しみです。

町田：原よさは、踊りが非常に難しいんです。それでも年上の方が一生懸命振り付けを覚えて練習しているところに、パワーを感じますね。ここまで年齢層が広く、みんなで家族のように励まし合って振り付けを練習している連は、なかなかないですね。

—— 8月26日(土)・27日(日)には、原宿表参道元氣祭スーパーよさこい2017が行われますね。

林：当日は、本当にたくさんの人たちが来て楽しんでくれるのが伝わってきます。原宿駅前にできる大きなステージから、遠くまで人がいるのが見えて、まるでスターになったような気持ちになれるんです。すごい体験だな、と毎年感じています。8月最終週の土・日曜日は、1年の中で私にとって大切な2日間なので、今からとても楽しみです。

山内：夏が来たら踊る、ということが体に染み付いてきました。これがないと夏じゃない、という気持ちです。観客には海外の方も増えてきているので、よさこいを通して日本の良さや伝統を伝えていきたいですね。



たくさんの
観客を前に踊るのは、
まるでスターの
気分です。

はやし ゆき
林 優子さん



幅広い年代の方が
支え合う
チームワークが
原よさの魅力です。

やまうち あやこ
山内 綾子さん

「原宿よさこい連」。メンバーとして活動する皆さんに、よさこいの魅力などを伺いました。

眞弓：原宿表参道元氣祭スーパーよさこいでは、明治神宮で披露する踊り「奉納舞」があります。神様の前で踊ることは、すごく緊張しますが、うれしい体験です。それに、踊ることはもちろん、観客の皆さんの反応や笑顔を見ると、もっと楽しくなります。団体賞のほかに、審査員の方が選ぶ個人賞もあるので、笑顔で踊って個人賞を狙いたいですね。

町田：踊りを披露する道路は、普段歩くときと長い道のりに感じますが、本番で踊っていると本当にあつという間なんです。自分自身がすごく楽しく、夢中になっていると実感します。今年は下の娘が初めて参加するので、家族全員で踊ることが楽しみです。

尾松：私は歌を担当しているので、お祭り当日はトラックに乗って歌います。皆さんがこちらに手を振ってくれたり、たくさん見に来てくれるので、張り切って歌うことができます。歌で観客に元気を与えられたらうれしいですね。

—— 皆さんにとって、よさこいの一番の魅力は何ですか？

林：踊っていて楽しいところです。また、たくさんの方にパフォーマンスを見ていただく機会はなかなかないので、とても貴重な体験ですね。

山内：群舞というところですね。みんなで踊っているから、何時間でも一緒に頑張ることができ。そういうチームワークで支えあって踊ることが、一番の魅力だと思います。

眞弓：私はもともと運動が得意ではなかったのですが、よさこいを始めてから体力がよくなりました。いろいろな年代の方と仲良くできて、みんな優しく励ましてくれるので、練習はとても楽しいです。

町田：自分の連の仲間もそうですが、本番になるとほかのチームとお互いの踊りを見て意見交換をするなど、交友関係が広がっていきます。そういった交流ができることも魅力だと思います。

尾松：踊りが終わった後の「やったー！」という一体感は、ほかでは味わえない感覚です。小さい子から大人までみんな同じメニューで練習するのは、ほかのスポーツにはない面白さだと思いますね。

—— よさこいに興味を持っている人へのメッセージや今後の抱負をお願いします。

林：少しでも踊ってみたいと思ったら、考える前に体験しに来てください。一度踊れば、よさこいの魅力はすぐにわかんと思います。体を動かして、振り付けを覚えることはとても大変ですが楽しいです。みんなでよさこいを踊りましょう。

山内：普段は関わることのない、幅広い世代の方とお話できるのは充実した時間だと思うので、ぜひ体験しに来てほしいですね。

眞弓：チームのみんなは、とても優しく家族が増えたような感じがします。小学生でも参加できるので、私と同年代の人にもぜひ参加してほしいです。

町田：実は原よさは男性が4名と非常に少ないのですが、その分、とても目立つことができます。見に来ていただけたら、よさこいの魅力を存分にお伝えできると思うので、ぜひやる気のある男性の参加をお待ちしています。

尾松：小さなお子さんを連れて家族で来られる方もいらっしゃいますし、区外から参加して下さっている方もいます。原宿が大好きな方であれば、誰でも参加できますので、まずは体験から、いつでもいらしてください。2020年には東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催もありますし、今後は外国の方にも参加していただきたいです。そして開会式や閉会式でよさこいが披露できたらうれしいですね。それを夢見て、みんなで日々の練習を頑張ります。

※原宿よさこい連の皆さんのインタビューは、8月15・22・29日「渋谷隣人祭り」で放送予定。

原宿よさこい連の活動について、詳しくは原宿よさこい連HPをご覧ください。 <http://harayosa.com/>

よさこい祭りとは

戦後の不況の中で経済復興・地域おこしを目的として高知県で誕生した祭りです。鳴子(田畑に吊るして、音でスズメなどを追い払うための道具)を鳴らしながら踊る、よさこい踊りの個性あるパフォーマンスは、多くの人々を魅了し、よさこい祭りは日本全国に広まりました。(参考：原宿表参道元氣祭スーパーよさこい2017HP)



今年の
スーパーよさこいでは、
笑顔で踊って
個人賞を
取りたいです。

まゆみ
真弓りかさん



音楽に合わせて
踊ることの楽しさを
よさこいで
知りました。

まちだ ゆうたけ
町田悠輔さん



(右下)写真提供：原宿よさこい連

原宿表参道元氣祭スーパーよさこい2017

日時 8月26日(土)・27日(日)
10:00~20:00 ※27日は17:30まで
会場 原宿表参道、明治神宮、代々木公園ほか

2001年から毎年8月末に開催されている首都圏最大級のよさこい祭で、全国各地から約100チームが表参道に集結し、個性豊かな熱気あふれる「よさこい鳴子踊り」を披露します。

※紙面に掲載している情報は、29年8月15日現在のものです。

問 広報コミュニケーション課 広報聴係 ☎3463-1287 📠5458-4920

渋谷区の番組を放送中です

ラジオ しゅや区ニュース (10分間) 月~木 11:00/16:00/21:50 「しゅや区ニュース」の情報を発信します	渋谷隣人祭り (45分間) 火 11:10 渋谷区で活躍する人たちが登場します	ラジオ しゅや区ニュース(区長の部屋ほか) (10分間) 金 11:00/17:00/19:50 長谷部健 渋谷区長が出演します(ラジオしゅや区ニュースの内容になる場合あり)	渋谷のくらし (30分間) 金 17:20 地域の催しなどの様子を伝えます
---	---	---	---

ラジオ しゅや区 ニュース × 渋谷区 とは？

「しゅや区ニュース」では毎号、「渋谷のラジオ」と連動したページを掲載。「しゅや区ニュース」と「渋谷のラジオ」が連携して、人とのつながりが広がる紙面をお届けしています。

周波数：
87.6MHz FM ☆公式アプリでも聴取可能

住所 | 渋谷区3-22-11 サンクスプライムビル1階 TEL | 6712-6876
FAX | 5778-9620 E-MAIL | info@shiburadi.com HP | https://shiburadi.com/